

人工知能技術コンソーシアム 2020 年度事業計画書



1. 2020 年度の活動

我が国が掲げる Society5.0、サイバーフィジカル社会の実現を目指し、2015 年度に国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター内に設置した人工知能技術コンソーシアムとして、人工知能技術や IoT・ビッグデータ活用に関心のある複数の企業や地域の関係機関を集め、全体会議やテーマごとの集会においてビッグデータ活用の事例や人工知能技術の活用事例、動向の共有、意見交換、コンテストの開催及びプロジェクトや試行した結果の報告を行う。また同じ関心を持つメンバーから構成されるワーキンググループ(WG)を設け、各 WG 内で実証プロジェクトの立案、試行、協業を進めるなど、共創的価値創出を促進する。

2020 年度は、新たな WG や地域拠点となるグループを設立し、会員組織間での共創的価値創出をより加速させるとともに、AI 技術やビッグデータ活用技術の社会実装とプロジェクトの試行事例を多く創出することを目指す。具体的には、多様な業種により構成された WG の中で、共通の課題を共有したメンバーが集まり、プロジェクトチームとして活動し、データとニーズと技術シーズとのベストマッチングを模索し、ワークショップやコンテストを通じて具体的なアクションプランを作成する。このアクションプランを実施した結果を得られたノウハウなどとともに整理、報告し、他の WG や地域のグループが参照できるようにすることで、AI 技術の社会実装の水平展開、加速度的普及を目指す。このようにして得られたコンソーシアムの活動成果は地域支部 WG におけるセミナーや、公開シンポジウム、Web ページなどを通じて外部発信し、人工知能技術の社会実装、Society5.0 の実現に向けた取り組みを促進していく。

2. 活動内容

コンソーシアムの活動内容は主に以下の 4 点である

① ニーズ・ユースケース、データと技術シーズのベストマッチング

法人会員がそれぞれの課題や強みを紹介し、お互いの理解を深める場として運営委員の承認を受けた WG を設立し、その中で参加会員間の協業の可能性とアクションプランの策定を行い、実証プロジェクトとして予算化し、体制を構築する。任意参加となる個別相談会の時間を設け、興味のある会員同士が協調、共創して各 WG の運営を進めていく。

② 人工知能技術とビッグデータ活用の実証と公募事業への提案、ビジネスモデル構築

人工知能技術とビッグデータ活用について、実証プロジェクトを具体化しフィールドの選定や実証実験を試行する。これにより成功事例や失敗事例についての検証を得られたノウハウなどとともに報告する。さらにプロジェクトの大規模をはかり、公募事業への提案やビジネスモデルの構築も目指す。

③ 人工知能技術とビッグデータ活用に関するセミナー、情報共有及び共創的ワークショップ、コンテスト、展示イベントなどの実施

人工知能技術(AI ツールや AI リビングラボ、ビッグデータ活用など)に関するセミナー、情報共有、共創的ワークショップ、ビジネスアイデアなどのコンテスト、展示イベントの場を提供する。

④ 外部向けイベントの実施

上記の会員向け企画の他にも定期的に外部向けにシンポジウム、セミナー等のイベントを企画・開催するとともに、Web ページなどを通じて広報活動も行うことで新規会員の獲得を目指す。

3. 活動計画

運営委員会ならびに各 WG 会合をおよそ 1 ヶ月に 1 回程度実施する。また全体会議(総会及び定例会)を年 4 回程度実施し、各 WG やプロジェクトの活動報告とコンソーシアム全体の運営に関する議論を行う。年に数回程度、外部参加者も交えた公開イベント、コンテスト、共創的ワークショップを開催し、各 WG やプロジェクトなどコンソーシアムの成果の発信を行う。

4. ワーキンググループ(WG)

各 WG は会員から構成メンバーを選出し、活動計画、予算案について運営委員の承認を得て活動を開始する。現在予定している WG は以下の通り。必要に応じて新たな WG を追加することもありうる。

- ・ Human Life WG
- ・ データ・知識融合 WG
- ・ データプラットフォーム WG
- ・ ものづくり WG
- ・ AIRリビングラボ WG
- ・ AIツール WG
- ・ データマイニング WG
- ・ ユースケース WG
- ・ 医用画像 WG
- ・ 社会課題解決 WG
- ・ 深層学習 WG
- ・ 関西支部 WG
- ・ 九州支部 WG
- ・ 東海支部 WG
- ・ サイバーフード WG
- ・ 観光 WG
- ・ 教育 WG
- ・ 神戸支部 WG
- ・ 新規立ち上げ予定)AI サービスシステム WG(仮称)
- ・ 新規立ち上げ予定)Human Resource WG

5. コンソーシアムの運営

本コンソーシアムの運営委員会は以下から構成される。適宜追加されうる。

会長:本村陽一(産業技術総合研究所)

副会長:豊田俊文(東急エージェンシー)、武井明則(PwC ビジネスアシュアランス)、松岡竜大(シグマクス)

運営委員:鶴川健太郎(セック)、高岡昂太(産業技術総合研究所)、牧野茂樹(野村総合研究所)、沖山翔(アイリス)、轟佳大(アイリス)、西尾善英(シナジーマーケティング)、猪谷誠一(博報堂)、岩本圭介(NTT データ数理)、山本和寛(NTT データ数理)、石田和宏(クリアタクト)、杉山 邦洋(ブイシंक)、上原将司(ネクサート)、萩島功一(産業技術総合研究所)、玉川弘子(大阪商工会議所)、野間康平(大阪商工会議所)、小野寺隆(ベルズシステム)、藤本晋一(神戸商工会議所)、兵頭拓朗(神戸商工会議所)、片山善寛(株式会社アシスト)、伊藤久司(東海ソフト株式会社)、渡辺健司(応用技術)、田中雄策(リテール AI 研究会)、安松健(オーガス総研)、山下和也(産業技術総合研究所)、佐藤優介(Sunny※4 月以降変更の可能性有り)

事務局:竹田会里(産業技術総合研究所)

6. 年間スケジュール(予定)

全体定例会 * 詳細は別途 HP の新着情報に掲載

- ・ 第 1 回～ 第 3 回全体定例会(開催日未定)
- ・ 総会、第 4 回全体定例会(3 月)

外部向けイベントの開催予定

- ・ Smart Sensing 2020 出展(5 月)
- ・ WG 見本市
- ・ 各 WG 主催のオープンイベント

収支予算

2020 年度予算は下記表の通り。

費目	金額	備考
収入		
会費	23,500,000 円	100,000 円 × 235 口
合計	23,500,000 円	
支出		
WG 活動費(加速費を含む)	19,100,000 円	内訳別表に記載
運営費(人件費、物品費、役務等)	4,400,000 円	
合計	23,500,000 円	

別表. WG 活動費

平成31 年度 WG 予算計画	WG 参加 法人数	計画予算 合計	<内訳> 旅費・宿泊 費	<内訳> 会議・ イベント費	<内訳> 研究・開発 ・実証費	<内訳> 備品・機材 購入費	<内訳> 計算機利用料
Human Life WG	9	50 万円		250 千円	250 千円		
ものづくりWG	39	100 万円	200 千円	200 千円	500 千円	100 千円	
社会課題解決 WG	25	100 万円	200 千円	200 千円	400 千円	200 千円	
ユースケース WG	7	100 万円		200 千円	800 千円		
医用画像 WG	23	100 万円			900 千円	100 千円	
サイバーフード WG	6	100 万円	800 千円		200 千円		
観光 WG	7	100 万円	800 千円		200 千円		
教育 WG	10	100 万円	400 千円	200 千円	400 千円		
データ・知識融合 WG	5	50 万円		250 千円	250 千円		
データプラットフォーム WG	3	50 万円	250 千円		250 千円		
データマイニング WG	36	10 万円		95 千円		5 千円	
AIツール WG	12	100 万円			1000 千円		
AIリビングラボ WG	22	100 万円			900 千円	100 千円	
深層学習 WG	18	100 万円	200 千円				800 千円
関西支部 WG	18	100 万円	500 千円	500 千円			
九州支部 WG	10	80 万円	300 千円	500 千円			
東海支部 WG	28	100 万円	300 千円	400 千円	300 千円		
神戸支部 WG	11	100 万円	200 千円	800 千円	600 千円		
新)AI サービスシステム WG	-	100 万円	200 千円	100 千円	700 千円		
新)Human Resource WG	-	100 万円	300 千円	100 千円	600 千円		
加速費	-	100 万円					

